

日本共産党

中央区議団ニュース

発行

日本共産党中央区議会議員団
中央区築地1-1-1

中央区役所9階

TEL 3546-5563 FAX 3546-9570

築地市場移転推進の「合意」を破棄し 「現在地再整備」に立ち戻るべき

日本共産党区議団

—ご意見・ご要望をお寄せください—

ホームページをご覧ください・・・HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>



築地市場の全景

移転推進の「築地のまちづくりに関する合意」

中央区長は、2月7日に東京都卸売市場長と「築地のまちづくりに関する合意」を行いました。

今回の合意には「都は移転整備を着実に進め、区もこれに同意する」「(豊洲と)至近である築地に卸売市場を整備することは適当でない」ことが、明確に唱われています。

一方、区が提案をしている「鮮魚マーケット構想」や「勝どき門駐車場」の暫定利用については、これから「検討を行っていく」ということで、検討の結果どうになるのか、全く不明です。

土壌汚染問題は解決していない

移転予定地は、東京ガス工場跡地で、人体に有害な物質で広く地下深くまで汚染された土地です。東京都は「土壌汚染対策をするか



3.11大震災で液状化した移転予定地

ら大丈夫」としていますが、調査や実験の内容はズサンで、汚染の可能性が低いとして調査してこなかった地層でも、環境基準の75倍のベンゼンや10倍のヒ素が確認されています。予定地は3・11大震災の際、108か所で液状化現象が発生し、地下水と泥が地表に噴き出しました。表層の土壌対策を行っても、地下から有害物質が噴出する危険性があります。

大震災でもビクともしなかった現在の築地市場でこそ、「食の安全」を守れるのではないのでしょうか。

新市場は不安がいっぱい

東京都は、豊洲新市場の実施設計を6月までに取りまとめるとしています。計画では使用料、光熱水費は確実に上がる。「閉鎖・高床・立体構造を採用してコストを現状より安くできるのか」「世界一高い市場」など不安の声が寄せられています。

ます。

市場関係者の利益を守り、「食の安全」と都民の財産である築地市場のさらなる発展のために、現在地での再整備をめざすべきです。

「移転反対」の公約を

投げ捨てた都議会民主党

3月29日、築地市場移転経費を盛り込んだ中央卸売市場会計予算が、都議会でも可決されました。

民主党が「移転反対」の公約を投げ捨てて賛成したことは、都民

に対する重大な裏切りです。

豊洲新市場開設には、農林水産省の認可が必要です。農水省は移転を認可するには、移転予定地の「科学的見地にもとづく安全性」と「幅広い関係者の、消費者の理解」が条件と、国会答弁で述べています。

「汚染された土地に市場をつくるな」の声をさらに広げ、農水大臣に認可させないような世論を広げましょう。

津波の破壊力を想定した対策を

東日本大震災を教訓に防災対策の強化がもたらされています。東京都はこれまで首都直下地震を前提に、1.5mの津波であることを想定して津波対策をとってきました。しかし、津波は防潮堤にあたった瞬間に、堤防の1.5倍にせり上がったたり、引き潮で堤防を破壊するなど、高潮と比較にならない破壊力を持っています。

予算特別委員会でも、おぐり智恵子委員は、津波の破壊力を前提とした防潮護岸の耐震化や、地下鉄・地下施設の海水流入対策を早急に進めるよう求めました。区担当者は「東京都の防潮

が守られるよう万全の対策を講ずることが必要です。



志村たかよし議員が一般質問

日本共産党の一般質問は、2月29日におこなわれ、党区議団を代表しての本会議で、志村たかよし議員が質問にたちました。

志村議員は、社会保障切り捨てと消費税増税の「一体改悪」が区民に及ぼす影響について区長の認識を問いました。区長は「『一体改革』で、生存権が奪われたり、家計や中小企業に破壊的な影響を与



本会議場で質問する志村たかよし議員

えると考えていない」と冷たい答弁をしました。

中央区に大きな影響を及ぼす「オリンピック東京招致」問題や区民からも「隔年実施を」「中止を」の声も高い「東京湾大華火祭」の見直し問題もとりあげましたが、区長は、自らの見解を述べるだけで区民から出ている声に耳を傾ける姿勢は見えませんでした。

志村議員は、放射能対策と防災対策について、区民の命と財産を守る立場で積極的な提案をしました。区長は消極的な答弁に終了しました。さらに区長が「築地のまちづくりに関する合意」を都とむすんで築地市場「移転」推進の立場に立ったことをきびしく批判しました。

【志村たかよし議員の質問項目】

- 1、社会保障切り捨てと消費税増税の「一体改悪」について
- 2、オリンピック東京招致について
- 3、東京湾大華火祭の見直しについて
- 4、「築地のまちづくりに関する合意」について
- 5、児童館などへの指定管理者制度導入について
- 6、放射能対策について
- 7、防災対策について
- 8、教育に関わる問題について



日本共産党区議団の修正提案内容

《財源確保策・経費の節減》

議員の費用弁償（委員会出席で日当5千円支給）の廃止	914万円
議長交際費を半分に削減	75万円
区長交際費を半分に削減	275万円
賀詞交歓会の簡素化	425万円
月3小温水プール開放再開による使用料収入	90万円
学習力サポートテストの中止	1,948万円
財政調整基金からの繰入（大華火祭の予算相当額）	3億2,971万円

《施策の充実に充てる》

共通買い物券の2億円の増額（10%プレミアム分）	2,000万円
5日間を想定した防災備蓄食糧の充実	4,000万円
情報公開の閲覧・視聴手数料の廃止	40万円
一人暮らし高齢者たより配布員による見守りネットワーク	1,000万円
子ども医療費無料化を18歳まで拡大	9,500万円
月3小温水プール開放再開の経費	2,000万円
自転車専用道路・ハンブ導入のモデル実施	1,288万円
まちづくり協議会報告の広報誌の発行	1,000万円
住宅リフォーム助成制度の創設	7,500万円
新入生標準服半額補助	1,410万円
教科活動費補助	4,560万円
食材含有放射線測定器などの購入	1,900万円
路上弁当販売監視員の増員	500万円

給食食材放射線測定器の購入など 予算修正案を提出

予算特別委員会で12年度予算案が審議されました。日本共産党からはおぐり智恵子・加藤ひろし議員が委員として出席し、防災対策や福祉の充実などを求めました。また、一般会計予算案に対し、修正案（左表参照）を提出し、医療費の無料化拡大などを提案しました。



加藤ひろし議員



おぐり智恵子議員

党区議団が提出した修正案は採決の結果否決され、区長提出の一般会計予算に日本共産党とみんなの党が反対しましたが、賛成多数で可決されました。

介護保険料・国保料の 値上げ中止を

第一回定例会に、12年度の介護保険料、国民健康保険料を値上げする条例改正案が提出されました。

国民健康保険料は今でも滞納世帯が増え、3軒に1軒が滞納している深刻な事態です。日本共産党区議団は、国庫負担を増やし保険料の引き上げを行わないよう求め、値上げ案に反対しましたが、賛成多数で可決されてしまいました。



母になりました！ 双子の女の子を出産



区議会議員 志村あさひ

2月27日、双子の女の子を出産しました。初めての出産、そして子育て、楽しみと共に不安もたくさんです。

そんななかで、中央区の子育て支援策のひとつ、「出産支援祝タクシー利用券」（3万円）はとても役立ちました。双子は未熟児として産まれたので、1ヶ月半、NICU（新生児集中治療室）に入っていました。私は、この「タクシー利用券」を使って、冷凍した母乳を毎日病院に届けていました。

中央区にはこのような子育て支援策がある一方で、産院や認可保育所不足は深刻です。子どもが体調をこわした時の病時・病後保育の充実も欠かせません。これからも実体験をふまえて、「子育てするなら中央区！」と言われるような、他区に誇れる子育て支援策を提案していきます。



無料法律相談会

隔週火曜日午後3時～
◎予約が必要です。事前にご連絡ください。
区議会控室 (3546-5563)
地区委員会 (3551-6820)